

スター好ナフ
トール 着尺
ナフトール實
用向フトン地
秋物入荷
龜田屋
電五七

初秋の御用意品案内
合着シャツとして
確かに皆様より歡
迎を受けるスムー
スシャツは肌觸り
滑かで且實用品で
あります
並時 壹圓五拾錢
大時 壹圓八拾錢
綿ネルと本ネルの
ワイシャツ
中折帽子
鳥打帽子
中山帽子
子供帽子
新柄種々陳列致し
ました
ツルヤ
電話百四十番

看護婦派出
の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番
信託 信託
寒暖計 関内藥局
電話四〇〇番

常盤新聞
定価 一月五圓 三月十三圓 半年二十五圓 一年五十圓
印刷所 常盤毎日印刷所
電話六三〇番

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目(電三)

外科専門
花内外
柳臟科
病外一
科科般
診察時間 午前八時より午後九時まで
但し急患は此の限にあらす
安齋外科醫院
平町田町大通り電話四三六番

君は、いゝ型の
洋服を求めたない
眺かへ？
いや君コレは
例の「ソレ」
正札堂
り通車停町平
堂札正



三益玉炭のお奨め
三井物産會社が多年研究の結果專賣特許ヲ得タ最モ文
化的ノ木炭代用ノ高級燃料デス
○無煙無臭で火付が早く、火持ち良、火力が強く日
常のニヤキにはコンナ便な品はありません
○それで値段は大變お安く木炭の三分の一で充分間に
合ひます
○ドンナニ喰はずさらいの人でも一度使へば必ず御氣
ニ召すのが此の玉炭の特長です
値段ハ壹箱金二圓、個數ハ約八百個内外
お申越次第見本を持參してご覧に供しますからお申越
下さい
平 前 (電話二二七番)
阿部石炭商店

ガマ印蠅取紙懸賞當籤發表
過般募集致しましたガマ印ハイトリ紙大懸賞抽籤は去
る十月四日時事新聞紙上に發表なりました
左記人名の方の賞品が當店に到着致しましたから御渡申
ます。何卒御來店被下様御待申ます。尙各地縣の當籤
者人名悉く發表なつたのを御目に掛けます
壹等賞(十八金天賞堂發賣金側計壹圓)
當籤幸運者 平町研町十八 佐藤清 様
四等賞
久之濱町十七 河野田正子
双葉郡浪江町 百足藤助
内郷村 田中長次郎
平町堂前 大和田政雄
阿部カラ
五等賞
相馬郡鹿島町 堀川龜記
大久村桃木澤 高萩貞二
平町 齊藤一郎
平町堂前三 大和田政雄
平町白銀町 柏木理髮店內
神村末治
平町古鍛冶町縣社下(電話四四番)
阿康藥店

祝五週年
西洋料理業組合
平町

債券兩替質商
多田井商店
平町大工町
福島縣平町播磨小路二四
中 鋸製造業
ヤスリ販賣
中屋長三郎
綠川喜三郎
振替仙台三六〇三番

家庭講座
兒童に及ぼす
童話の感銘 (八)
仙台放送局の講演速記
川崎小鳥講述
私が自動車に乗って、い
ま、放送局に参ります途
中、小さな男の子が、横
道の處から飛び出まじ
自動車の前に飛び出まじ
た「アッ危いッ」と思ふ暇
もなく、その子供は二三
間向へもんどり打つて跳
ね飛ばされました。私は
殆んど夢中の有様で子供
の側へ走せ寄り、すると、
横倒しになつた子供の頭
からは血が流れて居りま
した。サア大變な事が出
来て仕舞つた、私は其處
で暇取つて居ては今日、致
放送に間に合はない、致

し方なく走せ集つた人々
によく頼んで、附近の病
院へ、その子供を擔ぎ込
み、取るものも取り敢
ず放送局には参りました
が、今頃その子供がどう
なつたかそれを思ふと私
はこうやつて放送をして
居りましたも氣が氣じや
ありません
これは嘘の話してあります
私が假りに斯様な嘘を申し
ましたなれば如何で御座い
ませう、いまラヂオをお聴
になつて居られる方の中で
も、「うん、云ひは、家の坊やは
サツキ出掛たきりで、歸つ
て来ない、もしや其の自動
車に跳ね飛ばされたのは家
の坊やではないか」と
御心配をなさる事せう。
斯くの如く人に不安を抱か
したり、脅やかしたりする
嘘は甚だ罪のある嘘で憎む
べきであります、然し……
私が放送局へ参ります爲
め自動車に乗り込みます
と、何かしら平べつたい
真ッ黒なものが、ドタリ
パタリと自動車に近づい
て来ました、夫れは一匹
の龜の子でした、龜の子
はじきり何か自動車に
話しかけて居ります「自
動車君、僕の先祖は世界
で一番遅い、夫れから後
は僕等龜の子が世界で一
番遅い、君は此頃盛んに
砂ほこりを立て、街を走
り廻つて居るが、イザ遅
け競べとなつたら僕には
かなふまい」と白慢をし
て居りました、何んを身
の程を知らぬ龜の子じや
ありませんか。
是れも嘘であります(續)

月刊 發行編輯人 川崎文治
印刷所 常盤毎日印刷所
電話六三〇番

來る廿八日平町で 銀行同盟の大會

合同問題に就いて 知事が個人の意見を問ふ

本縣銀行同盟會では來る二十八日平町元郡會議事堂で本年度の縣下銀行大會を開催することに決定した

今春來 經濟界動搖

以來昨今沈靜に至つた經濟路につき懇談するものだとはいはれてゐるが銀行合同問題に對しては表面的には出ずさきには加勢知事が著任早々第一回の合同協議大會を開催して今日まで何等音さたもないのでこの

機會に

各個人々々の意向を聴取し内々話を進める意向のやうである

石城の米作豫想

今の處心配なし 穫れぬ處でも

五割は大丈夫の見込

石城郡に於ける本年度米作第二回収穫豫想調査は郡駐在神尾技師の手で行はれたが此の調査結果に依ると最初は平均二割減を豫想されてゐたのが天候の回復と相

萬部を印刷する豫定その他新潮社、一文藝春秋社ライオン本舗及び各婦人雜誌社等何れもその内容に新鮮味を盛り体裁に定價に大改革を加へるなど負けず劣らずの有様であるが一般に廉價になつたのは事實である、これら日記類は十一月初旬から市内の店頭に出初めるから各書店の店頭には年中に新しい春が訪れるだらう

近く日記類が 書店の店頭

一新装して現れる

今秋の御大典後の新年即ち昭和四年は總て景氣が立直るだらうと豫想して昨今各製本出版所は活氣ある已年昭和四年度の日記の印刷製本に大重の態である、その筆頭は何と云つても長年日記で賣込んで居る博文館で約六十

俟つて稻の發育も極めて良好となり收穫豊無か豫想された川前村三坂村澤渡村山間方面は約五割の減高久村方面は一割の減豊間、江名片濱方面は五分の減で平町

方部其他は大体に於て平年の程度で石城郡地方全部を平均して見ると平年作より約五分減の收穫と豫想され結實の状態も今の處非常に良好であると

偽つて横領

新藤屋の宿料

石城郡植田町字金畑居住石

大風呂敷を背負ひ 御齊所峠を越えた

大泥棒磐崎で捕る

住所不定自稱神奈川縣愛用郡高峯村生れ無職飯田八重次(三)は五日午後二時頃東白河郡鮫川村大字赤坂東野字遠ヶ龍佐川金六方の不在中を

奇貨とし

奥座敷に忍入り箆筒二ヶ所の中から絹綾織女袴一枚外五十四點(此代金六百餘圓)を窃取し竹下李の中へ詰め込み大風呂敷で背負ひながら御齊所峠を越えて石城郡磐崎村大字藤原に向つて逃走し來れる處に

行逢つた

平署森刑



美味しい汁の味

なれない方は鹽を少し入れれば味を直し醬油を少し入れては味を直します様な方があります、之れでは味の

變化が多くて好くありませんですから、分量を好くして一度においしい味を出す事が必要です。先づ水六合醬油一合、鹽一合、味淋二合、削節十合、煮出し汁五合、味の素二合の割合で用意が出来ましたら鍋に水を入れて煮立てます。そして煮立て汁昆布と削節とを一

緒に入れて五六分間位煮ます。味淋、醬油、鹽味の素を加へて十五分間程煮ます。この方は他の汁の取方と異なり昆布と出し汁と一しよに煮た上そのまゝ味をつけて煮上げるのですが味が複雑になつておもしろいござい

常磐炭礦界は 自由競争で悲觀

某大炭礦の貯炭乱賣から 小炭礦益々經營難

常磐大炭礦では不況への對策として木曜會を組織し出炭の制限、炭價の維持協定をなし違反の場合における罪則まで 設けて實行をなす事を協定したのであつたが貯炭をその儘にして置く事は到底資金の運用上から云つて出来得ない事のため窮餘の一策として小炭礦の名義を用へて貯炭の亂賣をなした某大炭礦もある斯うした手段をも選らば

なかつた結果ことに需要期に向つてからは一段とその自由競争が猛烈となり協定等は等外の問題として亂賣に近い取引を行ひつゝあるその結果は小炭礦の營業狀況に影響をおよぼし益々經營難に陥り營働者の賃銀を支拂ひ得ない状態にある小炭礦もすくなくない、需要期に入つて幾分

秋刀魚 一匹四五錢

續いて豊漁

縣水産試験場で七日發表するところによると本月一日小名濱港を出帆した磐城丸が七日の午前初秋刀魚十五萬尾を積んで無事歸港した磐城丸の外に四倉港の吉田船及び中の作吉田船も七日十四五萬尾の秋刀魚をとつたことだからこゝろ二三日過ぎると生秋刀魚が一匹四五錢で食膳にのぼるだら

う、魚屋の話である

病弱な
酌婦の金を
横領した主人

石城郡内郷村大字宮字金坂飲食店營業三浦屋伊達郡川俣町生れ三浦伊之助(二)は茨城縣茨城郡研濱町額川サキを前借百五十五圓にて酌婦に雇入れた處本年五月月中花柳病に罹つた爲め平町三業組合治療院に入院治療を受けしめ費用八十餘圓であるのに本年七月他に住替せしむるに當り治療代として四十圓を受取りながら治療院に支拂はず横領費消したる事平署青田刑事部

長が探知檢舉し目下取調中

平獵友會總會 平獵友會にては七日午後一時より平署樓上に於て總會を開き徽章新調の件、密獵防止の件、競獵會開催の件を協議した

タコ取り傷害

船の中で

石城郡小名濱町古港漁夫志賀榮吉(三)は去月廿一日夕方蛸取りの事から同町小野寅之助と船の中で口論を爲し棍棒を以つて寅之助を毆打左腕に全治二週間を要する傷害を加へたる事平署の探知する處となり目下同署に於て取調中

姑と共 嫁を虐待し

遂に發狂さす

川郡中谷村生れ無職田中久太郎(三)は双葉郡上岡村字上白岡安藤龜吉及び吉田良祐の兩名が平町鮫川町新藤屋旅館に四十圓八十錢の未拂宿泊料あるを知り自分が新藤屋から取立を依頼されたが如く装つて前記兩名に催促し四十圓を受取り横領せる爲平署半澤刑事に檢舉さる

馬の主やあい 汽車が遅れる

磐城東線江田、川前間を去る七日午後六時三十分頃上り第八列車が小川村地内に差しかつた際前方線路上に放れ馬一頭居るのを早くも機關手が發見二分間停車して無事なることを得たが馬の飼主不明にて目下取調中

眞野川荒れて 常磐線不通

昨夜來の大雨の爲め相馬郡眞野川氾濫し本日眞野川に架した鐵橋附近の堤防が崩壊し目下汽車不通であると

眞野川荒れて 常磐線不通

昨夜來の大雨の爲め相馬郡眞野川氾濫し本日眞野川に架した鐵橋附近の堤防が崩壊し目下汽車不通であると